

平成 31 年度全国学力・学習状況調査の結果 ～三木市と全国との平均値の比較及び今後の取組について～

1 調査の概要

(1) 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てます。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立します。

(2) 本市の実施校数等

- ・小学校 6 年生：16 校（597 人）
- ・中学校 3 年生：8 校（620 人）

(3) 調査内容

ア 教科に関する調査

（小学校：国語・算数、中学校：国語・数学・英語）

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し、評価・改善する力等に関わる内容

※調査問題では、上記①と②を一体的に出題

イ 学習習慣や学習環境、生活習慣等に関する調査

2 本市の状況及び今後の取組

別紙「今年度の全国学力・学習状況調査の結果について」

（保護者公表資料）のとおり

問い合わせ 三木市教育委員会教育振興部学校教育課

電話 0794-82-2000（内線 3520）